



超強力構造用両面テープ **アクリルフォーム** 2012.01

# リシタ レジスタテープ

強力な接着性能と柔軟性を併せ持ち、幅広い用途にご使用頂ける超強力構造用両面テープです

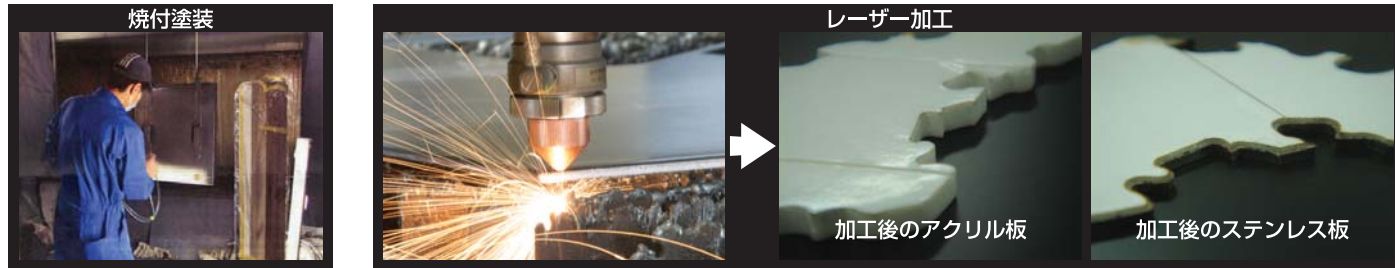
- ✔ **耐寒・耐熱性・耐水性に優れ厳しい環境下でも保持力キープ**
- ✔ **柔軟性が高いため異なる素材の接合も可能**
- ✔ **特殊な技術がなくともレジスタテープのみで容易に接合可能**
- ✔ **JIS 規格「Z1541 超強力両面粘着テープ」1種1号に準拠**

## 高温条件下でも安定した粘着性能を発揮

接着剤、ビス、溶接などに代わる新世代の接合技術として幅広い用途で使用できます。例えば、焼付塗装やレーザー加工の際、高温の環境下にさらされても、安定したテープ粘着性能を発揮します。

**-20℃～180℃**

使用温度範囲



### 施工用途例

#### Case 1 溶接できないアルミ複合板の接合 【接合素材：アルミ複合板 × アルミリブ】



溶接できないアルミ複合板とアルミリブ。板厚によってはビスも使用できません。そんな時にはレジスタテープで手早く接合！

#### Case 2 膨張係数の異なる素材同士の接合 【接合素材：ガラス × 樹脂プレート】



柔軟性が高いため膨張係数の異なる素材同士でも、伸縮・変形に基材が追従し、安定した接着力を発揮します。また、曲面での接着にも力を発揮します。

#### Case 3 ビス穴の開けられない壁面の接合 【接合素材：アルミ複合板 × 鋼板】



クライアントの要望でビス穴を開けられない壁や塀にも十分な接着強度を確保し接合可能です。

#### Case 4 風圧の影響を受けやすい屋上広告塔 【接合素材：アルミ板 × L型補強材】

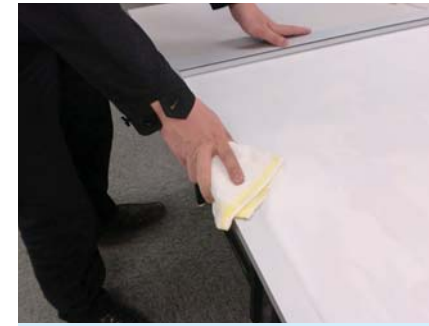


屋上広告塔は高所のため安全性が求められます。レジスタテープで補強することで、強風による揺れやがたつきを防ぎます。

上記用途例はあくまでも参考となります。条件・環境によってはビスなどで補強することをオススメ致します。

### 基本的な施工方法

#### 1. 素材表面のそうじ



素材表面のほこり、ゴミ、サビなどの汚れを拭き取ります。油、ワックスが付着している場合は、アルコールや溶剤で完全に拭き取ってご使用下さい。

#### 2. テープを貼る



レジスタテープを貼り、離型紙の上からスキージーやゴムローラーなどで気泡が入らないよう十分に圧着します。次に離型紙をはがします。

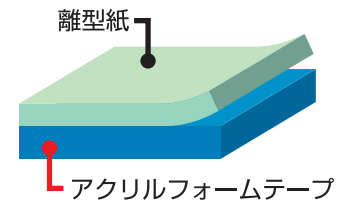
#### 3. 材料を貼る&圧着



材料の位置決めをし、素材全体に圧をかけます。もしくは、ゴムローラーなどで均一に圧着させます。

### アクリルフォームの特徴

- 耐候性** 分子が安定して結合しているため、酸素・熱・光に対して、優れた耐候性を発揮します。
- 耐水性** 基材が独立発泡構造なので水の浸透を防ぎ、シール性に優れ、密着度の高い接着を実現。抜群の耐水性を誇ります。
- 柔軟性** 柔軟性があるので、被着体の伸縮や変形、振動に基材が追従。安定した強力な接着力を発揮します。



### 仕様

品番	厚み	巾 × 巻数
FS-T006	0.4mm	19mm × 10m
		19mm × 30m
		25mm × 10m
		25mm × 30m



## ✔ JIS 規格「Z1541 超強力両面粘着テープ」1種1号に準拠

### ◎ 厳しい耐熱・耐候性試験をクリア

厳しい条件下での長期信頼性を実証するもので、過酷な環境下でも、その性能が発揮されています。

項目	測定条件	1種1号	レジスタテープ (0.4mm厚)
粘着力 (N/10mm)	23℃	>15.0	<b>15</b>
引張せん断 (N/100mm <sup>2</sup> )	23℃	>53.0	<b>117</b>
サイクルせん断 (N/100mm <sup>2</sup> )	180℃ × 30分 × 2回	>48.0	<b>&gt;217</b>
耐熱せん断 (N/100mm <sup>2</sup> )	80℃ × 30日	>48.0	<b>&gt;217</b>
保持力	180℃ × 30分	落下しない	<b>落下しない</b>
	80℃ × 7日	落下しない	<b>落下しない</b>
耐湿熱せん断 (N/100mm <sup>2</sup> )	50℃/95% × 30日	>43.0	<b>167</b>
促進耐候性 (N/100mm <sup>2</sup> )	1000時間	>43.0	<b>185</b>

- 上記の試験結果は、当社試験方法による代表値で保証値ではございません。
- 技術資料の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
- ご使用に際しては、お客様の使用条件にて十分ご確認の上ご使用下さい。貼り付ける材料によって粘着力は異なります。事前に使用目的に見合ったテストを行い、接着性能をご確認下さい。必要に応じて、プライマー処理等の下地処理を施しご使用下さい。